

第 143 回 国際母子カンファレンス

日時：2019年6月28日 金曜日 18:00 ～ 19:00

※通常の第二水曜日ではありません。ご注意ください。

場所：国立国際医療研究センター 研究所 地下1階 会議室 AB

講演 チームアプローチで女性の排尿機能を守る

講師：東北大学医学系研究科 ウィメンズヘルス・周産期看護学

吉田 美香子 准教授

講演頂く吉田 美香子先生は、広島大学病院および日本赤十字医療センターで助産師として勤務されたのちに、東京大学医学系研究科健康科学・看護学専攻で女性の排尿機能の研究に組み込まれ、現在は東北大学で研究・教育に携わられています。

近年のライフスタイルの変化と平均寿命の延長に伴い、女性は産後40年以上生きていくことが普通になり、その間に排尿をコントロールして自立した生活を行うことが、健康寿命を延長する上でも重要な課題となっています。その一方で、骨盤底の弛緩を回復させる重要な時期である産後には、排尿機能の評価およびケアが十分行われているとはいえ、産婦人科医と助産師の意識もそれほど高くありません。産後女性の生活の質（Quality of Life : QOL）を向上させるうえで、適切な産後の排尿ケアが必要とされています。

講演では多職種によるチームアプローチでの女性排尿ケアと骨盤底障害についてお話しいたします。

どなたでも参加できます。奮ってご参加ください。



主催：国際母子タスクフォース（協賛：医薬会）